

内装用羽目板・パネル 施工上の注意

必ず施工前にお読みください。

■施工前に以下の点をご確認ください。

- ・この商品は屋内専用商品です。屋外へのご使用は絶対に避けてください。
- ・浴室など水気や湿気が多い場所へ使用されると、カビの発生や腐れ、シミ、変色、割れ、反り、突き上げなどが起こる場合があります。絶対に使用しないでください。
- ・無塗装でご使用になる場合は材が湿気と乾燥の影響を受けやすくなり、伸縮、反り、ひび割れなどが発生する可能性が高くなることを事前にお施主様へご説明ください。
- ・下地材が濡れた状態での施工はやめてください。目隙、変形、割れ、反りなどの原因になります。
- ・雨風が吹き込むことの無いよう、開口部にサッシなどを取り付け後に施工してください。
- ・ご使用前の保管につきましては、直射日光や雨水のかかる場所、および湿気が多い場所を避けて保管してください。

■安全にご使用いただくために

- ・商品を取り扱う際は、トゲなどによるけがの防止、商品の汚れ防止のため、必ず手袋を装着してください。
- ・商品を切断、切削する際は、必ず防塵マスクを装着して作業してください。
- ・木製品は柔らかく破損しやすいので、保管、移動、再梱包の際は慎重な取り扱いをお願いします。

■施工上のお願い

●現場塗装を行う場合について

- 必ず、塗料の使用要項に基づき塗装面の木地研磨を行った上で塗装をしてください。研磨せずに塗装を行った場合、塗装ムラ、ナイフマーク（刃物の跡）が浮き出してしまう場合があります。
- 必ず裏面も塗装してください。表面（片方）のみの塗装の場合、湿気の吸放出に偏りが生じ、反りや狂いなどの原因になります。（木口や切断面も塗装の処理をお願いします。）
- また、床材が乾燥、収縮した時に塗装をしていない実部分が露出して目立つのを防ぐために、あらかじめ実部分まで塗装をしておいてください。自然塗装（柿渋）等をご使用の場合、木材成分と化学反応するおそれがあります。必ず試し塗りの上、ご利用ください。

●無垢商品の場合、現場の湿度の影響を受け伸縮します。伸縮率は材質や木の元口、末口によっても一定ではありません。そのため、施工時には必ず墨出しを行い、上下左右のバランスを確認しながら施工してください。

●施工後の養生は、隙間無く養生をしてください。隙間がありますとその部分のみ色が変わってしまい、色の違いが目立つようになります。

●エアコンなどを後から取り付ける場合は、羽目板に直接固定することは避けて、必ず下地に（必要なら補強して）取り付けてください。

●切断時のササクレや塗膜のハガレを防止するため、鉛筆などによる墨付けの後、カッターナイフなどで必ずケビキ処理を行い、ノコ、ノミ入れを行ってください。

〈内装用羽目板の場合〉

①自然木製品のため、一枚一枚色調、木目が異なるので、施工前には必ず仮並べをし、色調をご確認のうえ施工してください。

②多湿による羽目板の伸びを考慮し、クリアランス（隙間）を確保しながら施工してください。

③下地施工

- 木下地材は人工乾燥材を使用してください。
- 下地組みは、胴縁に12mmあるいは9mmの木質合板を捨て張りしてください。
 - ・羽目板を横張りする場合は、303mmの間隔で縦胴縁を取り付けてください。
 - ・羽目板を縦張りする場合は、303mmの間隔で横胴縁を取り付けてください。
 - ・プラスターボードを捨て張りに使用するのは絶対に避けてください。（プラスターボードには釘の保持力がないため）

④下地への固定

- フィニッシュネイル（針釘）は絶対に使用しないでください。
- ステンレス製の釘で施工してください。使用する釘の長さは、板厚の3倍程度を目安としてください。
- 釘を打つ位置は、各商品ページの断面図に記載しておりますので参考してください。

〈内装用パネルの場合（ウォールナット／オークパネル）〉

①自然木製品のため、一枚一枚色調、木目が異なるので、施工前には必ず仮ならべをし、色調をご確認のうえ施工してください。

②下地施工

- 木下地材は人工乾燥材を使用してください。
- 下地組みは、胴縁に12mmあるいは9mmの木質合板を捨て貼りしてください。
- モルタル面への直貼りは、下地水分による変色や劣化の恐れがありますので避けてください。

③下地への固定

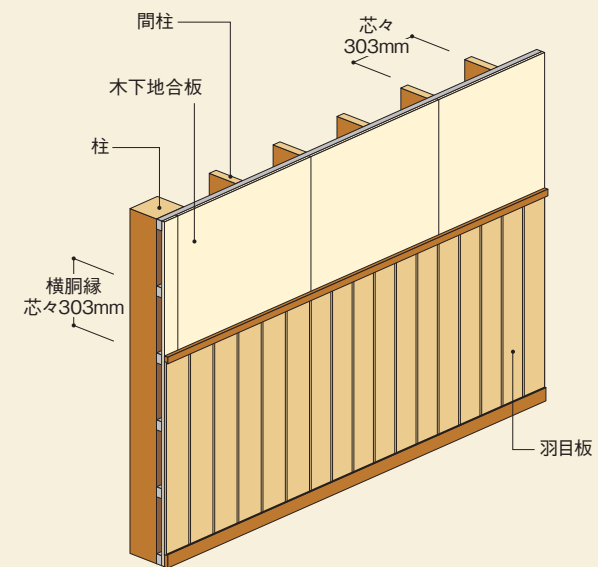
- 接着固定用両面テープと接着剤を使用し、下地材に接着固定してください。

接着固定用両面テープ	推奨 (株)オーシカ//セレクトィ仮止め用両面テープ
接着剤	推奨 (株)オーシカ//セレクトィ MS-100 編成シリコン樹脂系接着剤
	もしくは 推奨 (株)オーシカ//セレクトィ UR-21 ウレタン樹脂系接着剤

釘止めだけでは商品の性質上、下地材に固定できません。基材の性質上破損しやすいので出隅部分に木材等のコーナー材を必ず使用してください。巾木部分についても、出巾木による施工をしてください。

内装用羽目板（縦張り）施工図

●木下地合板の継ぎ目と商品の継ぎ目が一致しないようにしてください。



内装用羽目板（横張り）施工図

●木下地合板の継ぎ目と商品の継ぎ目が一致しないようにしてください。

